

輝城会広報誌

2022年
冬号

○新年のご挨拶

輝城会グループ

代表 西松 輝高

○ご挨拶

脳卒中センター長

藤本 剛士

○機器紹介

最新型手術顕微鏡
のご紹介

○施設紹介（サービス移転）

なかなじよ在宅ケアセンター
みんなの家なかなじよ

たくみの里わらアート（わらトラ）
撮影日：令和 3年12月 9日

新年のご挨拶

輝城会グループ代表

西松 輝高



新年明けましておめでとごうございます。

旧年中は輝城会グループの事業活動にご理解とご協力をたまわり心より御礼申し上げます。

令和四年の年頭に臨み、『輝城会広報誌新年号』発刊に寄せてご挨拶を申し上げます。

【デルタからオミクロンへ】

令和三年七月二十三日から十七日間に渡って開催された東京オリンピックでは、日本の選手団が躍動し、我が国史上最多となる金27

銀14、銅17の計58個のメダルを獲得しました。その興奮も冷めやらぬ中でパリオリンピック開

幕を四日後に控えた八月二十日、

新型コロナウイルス感染拡大の第五波はピークに達し、この日東京は五千四百五人、群馬県でも三百四人の感染が報告され、大阪、神奈川、愛知など十五の府県で過去最多となる感染者数を記録しました。さらに国内全体でも感染者数は過去最多の二万五千八百七十六人となり、すでに能力の限界に達していた保健所機能と相まって全国各地で医療体制がひっ迫し、地域によっては医療崩壊が起るなどデルタ変異株の猛威によって私たちの生活が根本から揺らぐ事態に陥りました。ところが九月に入ると第五波は急速に収束に向かい、九月三十日には十九の都道府県の緊急事態宣言と、八県のまん延防止等重点措置が全面解除され、翌十月一日の全国の感染者数は一千八百二人に減少しました。この急

激な減少には諸説ありますが、一

つにはワクチン接種の進展が大きな要因とみられています。我が国ではワクチン接種の初動が遅れたため、第五波の初期の頃から全世界で接種が飛躍的に進んだ一方、第五波で感染した人が免疫を得たことが重なったため想定外の収束に繋がったという見方もあります。その後十一月には全国の一日の感染者が五十人という日もあるなど、年末にかけて感染者数は劇的な減少傾向をたどりました。

そして新年を迎えた今、私たちは再び新たな変異株の脅威にさらされています。そのオミクロン変異株については、米国で従来型に対する割合がわずか一カ月で九十%以上に達するなどのデータが示されたほか、実行再生産数（一人の感染者が次に平均何人に移すかを表す指標）ではデルタ株の三倍

から四倍と推定されるなど、感染

力はこれまでで最も強いとみられています。その一方でオミクロン株の発生地とされる南アフリカや、昨年末に一日の感染者が二十万人近くに達した英国では、感染後に入院するリスクはデルタ株に比べて三分の一程度などとも言われたことから、「重症化のリスクは低い」というイメージを持つ方も少なくありません。しかし、そのようなレッテルが貼られてしまうことはいかに危険であるかは、我が国における第三波や第五波の経験が証明しているところです。

【ポストコロナに向けて】

このように二〇二一年も、コロナウイルスの猛威は沈静化するどころか次から次へと新たなフェーズに移り変わり、私たち医療関係



認知症

者もコロナ対策・対応に追われた一年となりました。

そんな二〇二二年でしたが、輝

城会グループでは職員一丸となってワクチン接種をはじめ感染対策を徹底しながら、やがて来るポストコロナの時代に向けた礎を築くことに傾注した年でもありました。

沼田脳神経外科循環器科病院では五月、脳神経外科に脊椎脊髄外科専門医である田中聡医師を迎え、北毛地域で唯一の「脊椎センター」を開設し、同月心臓血管外科には若手の兼村禎大医師、十月には脳神経血管内治療専門医である藤本剛士医師を「脳卒中センター」として迎え、本年五月※には開頭手術と血管内手術の“二刀流”を目指し修練を積んだ脳神経外科の女性医師の着任も内定しています。医師の増員のかたわらで、脳・心臓疾患による命に関わる失神の治療を行う「失神センター」を開設したほか、手術室にこの分野において世界一と評価される最新鋭の手術用顕微鏡を導入するなど

安全で精度の高い手術を行うための設備の更新を実施しました。また沼田クリニックでは四月に口腔外科及び顎関節の専門医である矢島哲弥医師を迎え、入院対応が可能な北毛唯一の本格的な歯科口腔外科として診療体制を一層充実させました。感染症対応としては、

新型コロナウイルス接種を強力に推進し、グループの職員総出体制で通常診療終了後や日祭日も休まず、四月二十一日から最終十一月九日までの間に計二万一千四百四十三回の接種を行いました。ワクチン接種では吾妻脳神経外科循環器科でも六月十日から九月末までで三百二十三人に接種を行うなど地域貢献を果たしました。さらに城西クリニックでは、四月に放射線科診断専門医、核医学専門医である小林進医師を新院長として迎え、画像診断を通じた更なる地域貢献に向けて診療体制を一新しました。

他方介護事業では、七月に懸案だった吾妻地域における訪問入浴のニーズに応え、あがつま在宅ケアセンターにホームヘルプ事業を集約した上、訪問介護・訪問入浴介護サービスを開始しました。さらにその後十一月には同地域の高

齢化や認知症の増加傾向に鑑み、みんなの家なかんじよを「認知症対応専門施設」、なかんじよ在宅ケアセンターを「リハビリ強化型施設」とし、それぞれ専門特化したサービスを提供するため、通所介護（デイサービス）事業の相互移管を図りました。このように長く引くコロナ禍にあつて、輝城会グループではやがて訪れるポストコロナの時代に向けて、やる気のある職員が躍動した一年であったことを報告いたします。

【明るい未来図を描こう】

コロナ禍に見舞われて丸二年が経過した今、なお終息の道筋が見えない状況ですが、沼田脳神経外科循環器科病院は二月十五日に六床の新型コロナウイルス感染症仮設病床の開設を予定し、沼田クリニックではすでに十二月三十・三十一日と一月三日、職員を対象に三回目のワクチン接種を開始しています。本年もしばらくは感染症対応に明け暮れることになりそうですが、一方で沼田脳外では、「心不全センター」の開設と、いわゆる“隠れ心房細動”の発見に貢献するAI（人工知能）を用いた心電図解析装置、またVR（仮

想現実）を活用したりリハビリ機器アルツハイマー型認知症の発症十五〜二十年前の極超早期発見を可能にする新型高磁場MRIの導入などを検討するとともに、積年の目標だったSCU（脳卒中ケアユニット）の開設も視野に入ってきています。また沼田クリニック、吾妻脳外ともに老朽化が進み手狭となった建屋の新築・移転について、MRIの更新なども検討し、必要なスペースを勘案して候補地を模索するなど、具体的な書写真の作成に取り組んでいきたいと考えています。

介護事業では、昨年の介護報酬改定で取り入れられた「LIFE」を進化させ、「科学的根拠に基づく介護サービスの提供」を実践しながら、「住み慣れた場所で、その人らしく、いきいきと」利用者さんやそのご家族が生活していただけるように、コロナに負けない笑顔溢れるサービスの提供に一層努力します。

結びとして、今年こそコロナとの闘いから解放され、皆様にとりまして笑顔と幸せに満ち溢れた一年となりますことを心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

※その後四月に変更となりました。

ご挨拶 脳卒中センター長 藤本 剛士

日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医
 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医
 日本脳卒中学会 専門医・指導医



皆さん初めまして。令和三年十月十六日付けで沼田脳神経外科循環器科病院脳卒中センター長として赴任いたしました。

出身は福井県福井市です。大学で新潟に出て、平成七年新潟大学脳研究所脳神経外科三代目中隆一教授の非常に紳士的且つ精巧な手術に憧れ入局。以来同教室関連病院..諏訪湖畔病院、秋田赤十字病院、千曲中央病院、富山県立中央病院、新潟県立十日町病院、厚生連長岡綜合病院、済生会水戸綜合病院、燕労災病院、武田綜合病院（福島県会津）、厚生連村上綜合病院を勤務。流石に福井県出身者はいないかもしれませんが、群

馬県のとおり新潟県が多いため聞いたことのある病院もあると思います。

教授退官を機に、脳血管内治療の世界的権威である当時和歌山労災病院の寺田友昭教授に弟子入りし、その後新潟脳外科病院にて脳血管内治療と直達手術を任せられ、県内トップの手術件数で診療部長として七年間勤務してまいりました。その後、恩師の紹介で宇都宮記念病院へ脳血管内治療担当科長として赴任しましたが、コロナ渦で碌に宇都宮を知らぬままに、今回家庭の事情で新潟に近い沼田の地にやってきました。妻は元新潟大学附属病院の看護師で、子供は男ばかり三人です。こ

れといった趣味はありませんが、お酒とカラオケが好きなのくらいです。

さて、小生の得意分野について少し紹介させていただきます。血管内治療の中には血行を再建する手技（急性期血行再建術、頸部頸動脈狭窄症または閉塞症に対する頸動脈ステント留置術、頭蓋内主冠動脈経皮的血管拡張術）と血行を遮断する手技（脳動脈瘤コイル塞栓術、脳動静脈奇形塞栓術、硬膜動静脈瘻塞栓術、難治性鼻出血に対する蝶口蓋動脈塞栓術。難治性慢性硬膜下血腫に対する中硬膜動脈塞栓術、髄膜腫や血管芽細胞腫などの術前腫瘍栄養動脈塞栓術）がありま

す。中でもシャント疾患（脳動静脈奇形と硬膜動静脈瘻）に対する経静脈的Onyx塞栓術と頸部頸動脈完全閉塞亜急性期症例に対する頸動脈ステント留置術は恩師のライフワークでもあり、国内初症例や高度難治症例も経験させていただきました。群馬県はもちろん全国一般的な脳神経外科で行われていない最先端の血管内手術を今後当院で施行することになると思います。五十過ぎの新参者ではございますが、是非温かく見守って頂ければ幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

最新型手術顕微鏡を導入しました。

3D画像を表示するモニターに顕微鏡の画像を映し安定した姿勢で手術を行うことができます

脊髄センター長 田中 聡

令和三年九月、手術室に最新型手術顕微鏡「Carl Zeiss KINEVO 900」が納入されました。群馬県では一台目になることです。KINEVOは手術顕微鏡としても世界最高峰の性能を有していますが、何よりもその特長は「外視鏡」として使用できることです。

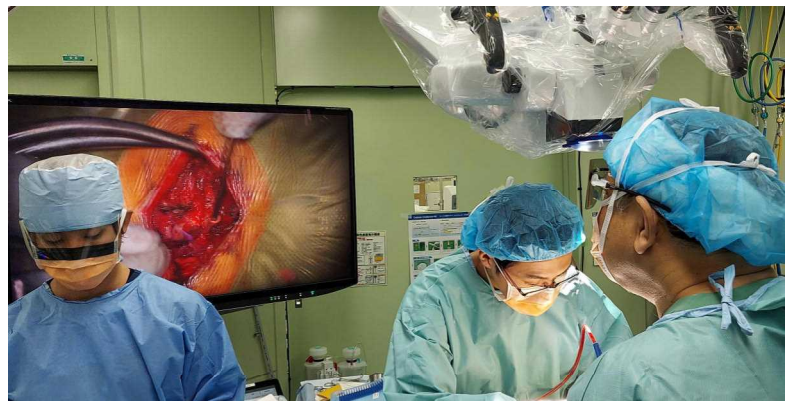
最大焦点距離が従来の500mmから650mmとなり、対物レンズを高い位置まで上げて、接眼レンズを覗くことなく4K 55インチのモニターで3Dゴーグルをかけて立体視しながら手術を行うのが外視鏡手術です。外視鏡専用機としてはオリンパスのORBEYEがあります。

すが、顕微鏡と併用できる機種は世界でKINEVOだけです。

数年前から脳外科の学会ではよく取り上げられており、「十年後には顕微鏡手術はなくなりすべて外視鏡手術になる」と言っている人もいました。私のような還暦を過ぎた脳外科医には外視鏡など縁がないものと考えておりましたが、実際にやってみると意外に私のような者でもできることがわかりました。皮膚切開の段階から接眼レンズ部分を手術台よりはるか上方に上げた状態で3D録画しながら肉眼（マクロ）モードで手術を開始し、その後、拡大して外

視鏡モードで従来顕微鏡下に行っていた手術操作を行い、

最も重要な部分の手術を行う時には慣れた顕微鏡モードで行うという三通りの使い方ができます。特に私が行っております脊髄脊髄手術は脳手術に比べてそれほど術野が深くなく狭くなく、あまり強拡大を必要としない点で外視鏡手術に向いていると思われ、特に現在最も多く行っている腰部脊柱管狭窄症に対する筋肉温存椎間除圧術（MILD手術）は術野も浅く、ほとんど顕微鏡モードを使用せず、外視鏡モードだけで手術できるようになっています。外視



鏡手術の長所としては、接眼レンズの位置により術者が不自然な姿勢とならずに済むこと、3Dゴーグルをかければ手術室に居るスタッフが全員、大型3Dモニターにより術野を共有でき、特に教育面において有用であることが挙げられます。いずれは本機を用いた脊髄外視鏡手術に関する学会発表も行いたいと考えています。

吾妻地区（中之条町）の通所介護事業の再編

当グループの吾妻地区（中之条町）における通所介護事業は、みんなの家なかんじょにて『地域密着型通所介護』を、なかんじょ在宅ケアセンターでは『認知症対応型通所介護』を運営しておりましたが、みんなの家なかんじょは開設以来一貫して『認知症対応型共同生活介護（グループホーム）』の事業に力を入れて運営してきたことから、当該事業所を認知症対応に特化した施設として、さらになかかんじょ在宅ケアセンターでは、リハビリを強化したデイサービス運営を行っていくこととし、相互のデイサービスの入替を行いました。

《リハビリ強化型》
地域密着型通所介護の開始
なかんじょ在宅ケアセンター

なかんじょ在宅ケアセンターでは、令和三年十一月一日より、地域密着型通所介護（旧みんなの家なかんじょ）を開始し、リハビリ強化型施設として新たに生まれ変わりました。利用定員は一日十五名と小規模ではありますが、リハビリ専門職から指導を受けた職員の個別リハビリや充実したリハビリ機器を使用したの筋力トレーニング、リラクゼーションなどを提供しています。

医療機関で提供しているリハビリの延長のような機能面に特化したアプローチから在宅生活の介護量の軽減に向けた基本動作能力の向上、慢性的な疼痛を抱える方のリラク

ゼーションなど幅広い領域で利用者一人一人にあつたりハビリティを提供できるよう努めていきたいと思えます。また、医療リハビリから介護リハビリへスムーズに移行ができるよう近隣の医療機関と連携を取り、自宅退院後のリハビリ継続を目的とした利用や通所リハビリからサービス移行が依頼がされるようなレベルの高いリハビリ強化型施設を目指してまいります。

施設内に併設されているシヨートステイに關しましても、在宅で生活できる機能を維持する目的での集団リハビリの提供はもちろんのこと、リハビリ専門職の個別リハビリ目的で利用される方も増加して



おります。今度もなかんじょ在宅ケアセンターはリハビリ強化型施設として、デイサービス、シヨートステイを通して北毛地区（主として吾妻地区）のリハビリニーズにこたえられるように体制づくりを強化してまいります。



代表TEL 0279-75-2800

『認知症対応専門施設』へ みんなの家なかんじよ

なかんじよ在宅ケアセンターで実施されていた認知症対応型デイサービス機能が「みんなの家なかんじよ」へ移設されました。これにより当施設は『認知症対応型デイサービス』と『認知症対応型グループホーム』の二事業を行うこととなり、利用者様に対し、「通所」から「入居」まで一貫したサービスを提供できる『認知症対応専門施設』として生まれ変わり、新たなスタートを切りました。

元々、十八名のデイサービスから、一日十二名定員の認知症対応型デイサービスに変更となったため、利用できるスペースは基準上必要とされる倍以上の面積を確保するこ

とができました。これにより、テーブルやソファ、リハビリ用のプラットホームなど、余裕をもって配置することができ、様々な利用者様のニーズに対応した個別の対応ができる環境を整えることができました。

認知症の方は最近の物事を忘れてしまう方が多くいらっしゃいます。また、環境の変化に対しても、状況を理解できなくなったり、不安を感じたりしてしまう場合が多くあります。

しかし、適度に身体を動かしたり、脳を使ったりしながら、ご本人が好きなこと、楽しいと思うことを行うことで認知症の進行を予防・改善す

ることができません。当施設のサービスにおいても親しみのある場所、物、人等を通して、適度に活動ができるよう配慮しています。

今後は認知症対応専門施設として、より地域に密着した活動を心がけ、利用者様が住み慣れた地域で安心して快適に活動し暮らし続けることができるよう支援させていただきます。新型コロナウイルス感染症等に注意しつつ、中之条商店街という立地を活かした買い物や散歩等の活動、周辺観光地の四万や伊香保等への外出も定期的に行っていきたいと考えています。さらに、系列診療所である吾妻脳神経外科循環器科（認知症患者医



代表TEL 0279-75-4165

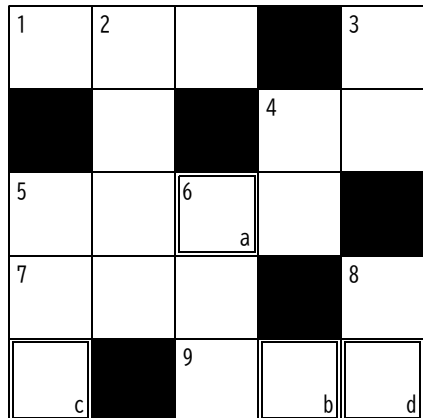


療センター）と円滑な連携を図り、職員勉強会等を通して情報交換を行い、相談ができる関係性を構築していきたいと考えています。

「認知症で困ったらここ。」という施設になれるよう、様々な活動にチャレンジしていきますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

クロスワードパズル

タテ、ヨコのカギをヒントに解きます。
二重線で囲まれた a～d 文字を並べ変えてできる言葉が答えです。



答え

a	b	c	d
---	---	---	---

提供元：クロスワード.jp

タテのカギ

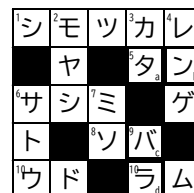
- 正しい答え。
- 中の方。家。自分が活動している所。外の反対。
- 雪や氷の上を滑らせて走る乗り物または運搬具。
- 英語で切断すること。一部分を削除すること。髪を切ること
- 畳をしいた日本風の部屋。
- 食べ物を盛る、浅くて平たい容器。

ヨコのカギ

- 新年を祝って食べる料理。
- ある事態の始末をつけるために必要な手続きをとること。
(別解釈) 2014年冬の五輪、
○○オリンピック。
- 関係。つながり。
- 「追試験」の略。
- 雨や雪のしずくが凍って、軒先などから棒状に垂れ下がったもの。

前回の
クロスワードパズル

答え タンバラ



輝城会グループ

医療施設

沼田脳神経外科循環器科病院

〒378-0014 沼田市栄町8
TEL 0278-22-5052
(ドック直通)0120-40-2288

沼田クリニック

〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-22-1188

沼田クリニック 歯科

〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-30-3003

吾妻脳神経外科循環器科

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町760-1
TEL 0279-68-5211

城西クリニック

〒371-0033 前橋市国領町二丁目13-23
TEL 027-234-7321

特別養護老人ホーム菜の花館

〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1757-311
TEL 0278-30-3331

菜の花館園原

〒378-0324 沼田市利根町園原870
TEL 0278-56-9200

介護施設

訪問看護ステーションまつかぜ

〒378-0053 沼田市東原新町1549-1
TEL 0278-22-6153
(居宅直通)0278-25-4401

ぬまとね総合在宅ケアセンター

〒378-0015 沼田市戸鹿野町238-1
TEL 0278-23-2526

ホームケアまつかぜ

〒378-0053 沼田市東原新町1549-1
TEL 0278-20-1185

グループホーム沼田公園前

〒378-0042 沼田市西倉内町658
TEL 0278-30-2201

輝城会重度介護支援センター

〒378-0053 沼田市東原新町1442-7
TEL 0278-22-1040

みんなの家なかんじょ

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町967
TEL 0279-75-4165

みんなんち園原

〒378-0324 沼田市利根町園原871
TEL 0278-56-9210

菜の花館本町通り

〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-5551

あがつま在宅ケアセンター

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-68-5488
(訪問介護直通)0279-25-8131

なかんじょ在宅ケアセンター

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5
TEL 0279-75-2800

かがやき訪問看護ステーション

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町5278
TEL 0279-25-8110

かがやき在宅ケアセンター

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町5278
TEL 0279-26-2680

かがやき訪問看護ステーション渋川

〒377-0008 渋川市渋川1192-1 上毛ビル2F
TEL 0279-26-7268

かがやき訪問看護ステーション前橋

〒371-0034 前橋市昭和町三丁目6-15
TEL 027-288-0573

ナーシングケア本町通り

なのはな訪問看護ステーション

〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-3355

輝城会となごみの杜広報誌『輝城会広報誌』では、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。

お名前などの個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿いただいても結構です。
また、診療に関する個人的な質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

- ・はがきなどの場合 〒378-0014 群馬県沼田市栄町8番地 輝城会グループ 広報
- ・電子メールの場合 pr-section@kijokai.or.jp



<https://kijokai.or.jp/>



沼田クリニックでは通院手段にお困りの方を対象に路線送迎（右の路線）及び個別送迎（沼田市街地のみ）を無料で行っています。

ご自身で運転ができない方、ご家族の送迎が難しい方、公共交通機関を利用するのが困難な方や介護保険の通院介助が利用できない方など通院にお困りの方はご相談ください。

ただし、ご利用には条件がありますので沼田クリニックの職員までおたずねください。

送迎路線図



●ご利用にあたって

1. 無料送迎サービスはご本人やご家族による通院が困難な方を対象にさせていただきます。可能な限りご家族による送迎をご検討ください。
2. 送迎の予約は前日までをお願い致します。当日の予約は承っておりません。
3. 予約をいただいている患者様には前日の午後3時まで迎える時間をご連絡させていただきます。※午後3時を過ぎても連絡がない時はお手数ですが確認のお電話をお願いいたします。
4. 個別送迎は、時間の指定は承っておりません。先着順で配車をさせていただきます。※予約は1ヶ月前より受け付けております

●方面別出発地

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
水上方面	サンモール駐車場	宝川入口バス停	粟沢バス停	湯檜曾朝日神社前	サンモール駐車場	湯檜曾郵便局
新治方面	猿ヶ京郵便局前	猿ヶ京郵便局前	猿ヶ京郵便局前	永井 十二神社前	猿ヶ京郵便局前	猿ヶ京郵便局前
片品方面	戸倉バス停	白根発電所前バス停	戸倉バス停	①道の駅尾瀬かたしな ②幡谷入口	白根発電所前バス停	道の駅尾瀬かたしな
白沢～川場方面			(有)木村工務店 作業場交差点			
根利方面						根利集会所バス停
赤城方面		深山大橋（公民館前）				

※出発地により運行ルートが変わります。詳しくは沼田クリニック職員までおたずねください。